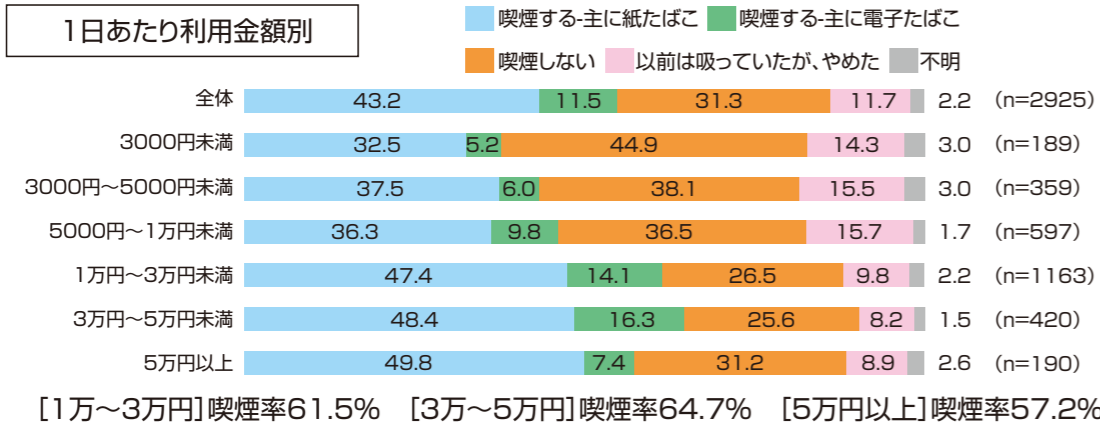


## 遊技者『使用金額』と喫煙率の関連性

(一般社団法人日本遊技関連事業協会 2018年度パチンコ・パチスロファンアンケート調査より)



プレイ頻度が“毎日”の遊技者の喫煙率  
**パチンコ 70.3%** **パチスロ 67.8%**

喫煙ブースの技術的基準(風速、粉塵、TVOC)はあるが、喫煙場所までの距離や、設置台数には規制がない。そのため、ホールの取組み次第では、喫煙者にとってストレスフリーな喫煙環境にすることが可能だ。

今後の喫煙対策を考える上で、一番重要なのは「遊技者の立場に立った喫煙環境」、「ホールの都合に合わせた喫煙環境」、どちらにするのかということだ。もっとも、ホールの売上を支えているのは喫煙者のため、前者の「遊技者の立場に立った喫煙環境」を創出することのほうが当然望ましい。

禁煙を理由に離反させないための対策が急務だ。その対策に万全を期すために、今、戦略的・戦術的な喫煙対策を練る必要がある。

先述の通り、万全な喫煙対策を講じるなら、1日も早く自店の方針を決定しなければならない。というのも、業者不足や資材不足の問題が既に表面化しており、ブース設置は待たなしの状況になっているからだ。まさに今年中が、ラストチャンス。といえる。

ホールが考えるべき選択肢は「完全禁煙」、「外部排気の喫煙室設置」、「外部排気の喫煙ブース設置」、「内部排気の喫煙ブース設置」の4つだ。完全禁煙を選択する場合はそれに合わせた施策を粛々と進めれば良いだろう。

ただし、それ以外の選択肢を考へる場合は、喫煙客に最大限配慮した喫煙対策が必要不可欠だ。自店の喫煙客の1日あたりの喫煙本数、動線などを考慮し、喫煙ブースの設置台数、設置場所を今のうちから事前検証し、トライ&エラーで試行錯誤しながら、来たる4月1日までに最高の喫煙環境を創出しておくことが求められる。

そこで最良のパートナーとなるのがエルゴジャパンだ。同社は長年にわたり分煙に関して取組み、

経験と実績を積み上げてきた。プロフェッショナル。そんな同社の喫煙ブース「スモーククリア」は外部・内部排気どちらでも対応可能で、厚労省基準もクリアするなど安心感も兼ね備える。しかも低価格で分煙を考へる全てのホールの課題を解決する喫煙ブースだ。

十分な納入実績に加え、費用対効果を考へつつ、法的、技術的観点から最適な設置提案を行うコンサルティングも豊富。今後の喫煙対策を考へるうえで、こんなに頼もしいパートナーはいないだろう。

高性能・低価格・省スペースを兼ね備えた「スモーククリア」。導入店は着々と増えている。



## 喫煙ブース「スモーククリア」



エルゴジャパンが提唱! 万全の喫煙対策で、喫煙者に選ばれるホールに

# 喫煙対策は今がラストチャンス!

現在、ホールの売上は喫煙客が支えている。2020年4月1日の改正健康増進法施行を契機に喫煙客を離反させないためにも、「早期の決断、万全の喫煙対策」が必要だ。

## 売上を支える喫煙客 離反させない対策を

2020年4月1日に施行される改正健康増進法。ホール内は原則禁煙となり、現在の喫煙環境から大きな転換期を迎えることになる。対策や準備は万全だろうか。来年になってからでも間に合うだろうか。という考えはもう危険な時期だ。その根拠をデータを基に示したい。

左のデータは遊技客の「使用金額と喫煙率」、「プレイ頻度と喫煙率」の関連性を示したものだ。データによると遊技客の喫煙率は5割。喫煙客の売上貢献度は7~8割。注目すべきは、毎日ホールに来店するヘビィユーザーのうち7割、そして、1日5万円以上使用する遊技客の6割が喫煙客である

## 自店の方向性を決め、万全の喫煙対策を



- ▶ 早急に計画を立て、発注や工事日程を今決める必要性 (来年から動き出しても、工事が出来ない可能性“大”)
- ▶ 最適な喫煙環境を創出するための検証時間が必要 (設置台数、設置場所etc)

**喫煙対策は今がラストチャンス!**

エルゴジャパン  
 東京都品川区大崎1-6-4  
 新大崎勤業ビルディング7F  
 スモーククリアに関するお問合せはこちら  
**0120-14-9501**  
 詳しくは  
   
[www.ergojapan.co.jp](http://www.ergojapan.co.jp)